

平成 24 年度 研究計画書

2012-2013 Research Plan

氏名 Name	三原健一
専門分野 Academic Field	理論言語学

平成 24 年度 研究計画 2012-2013 Research Plan

主たる研究テーマ Principal Research subject	日本語の動詞体系：活用とテンス				
研究計画 Research Plan					
生成文法理論における Cartography の枠組みを用い、句構造中で日本語動詞の活用形を認可する理論開発を行う。連用形については、昨年度既に日本語文法学会誌『日本語文法』に論文を発表しているので、本年度はまず、3 種類の活用形を擁する条件節（れば/たら節、と節、なら節）についての研究成果を、三原健一・仁田義雄（編）『活用論の前線』（くろしお出版）に刊行する（本年 10 月刊行予定）。次いで、命令文及びテ形節に関して研究を進める（来年度刊行予定だが、かなりの部分は既に完成している）。					
共同研究可能な分野 Fields feasible for joint research					
キーワード Keywords	活用形	テンス	句構造	Cartography	Minimalist